

令和6年度

郷土資料館

事業実績報告書

【自己評価】

A	B	C	D	E	○	△	×	評価なし
7	14	1			1			

令和6年度事業実績報告書 事業分類番号一覧

担当	大分類	中分類	小分類	細分類	ページ番号
業務担当	1 世代共通	1 学習分野	1 いつでも、どこでも、誰でもが主体的に学ぶことのできる機会を充実します。	16 郷土資料館・附属施設加賀家文書館・豊原分館の一般公開と展示の充実	業務担当1
				17 広報活動の充実(ホームページ・郷土資料館だより)	業務担当2
				18 郷土学習の支援	業務担当3
		2 芸術文化分野	3 ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。	17 郷土研究会等の育成	業務担当4
				09 郷土資料の収集・整理・保存・調査研究	業務担当4
				10 歴史や自然に関する調査研究	業務担当4
				11 ふるさと講座	業務担当5・6
				12 加賀家文書歴史講座	業務担当7
				13 特別展・企画展	業務担当7
				14 郷土学習出前講座	業務担当8
				15 出前移動展	業務担当9
				16 資料の有効的活用のための貸出	業務担当10
				17 郷土学習推進に関わる刊行物の作成	業務担当11
				2 生涯各期	2 青少年期
4 高齢期	3 ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。	03 所蔵資料を活用した地域回想法事業	業務担当13		
3 施設・機関	4 郷土資料館	1 郷土資料館の整備・充実を図り、文化遺産(郷土資料館)の継承に努めます。	01 郷土資料館の建設準備	業務担当14	
文化財担当	1 世代共通	2 芸術・文化分野	(2)町の歴史的遺産や文化財を適切に保存するとともに、歴史・自然・文化財を学ぶ機会を充実を図り、郷土愛を育成します。	01 町指定文化財指定・公開活用事業	文化財担当1
				02 埋蔵文化財保護事業	文化財担当2
				03 別海町歴史文化遺産認定・公開活用事業	文化財担当2
				04 奥行地区文化財保存整備事業	文化財担当3
				05 西別湿原ヤチカンバ群落地保存整備事業	文化財担当4
				06 文化財保存活用地域計画・歴史的風致維持向上計画策定事業	文化財担当5
				17 日本遺産整備活用事業	文化財担当5

1-1-1-16	分類	1-1-1 世代共通-学習分野	担当課	郷土資料館
推進目標	いつでも、どこでも、誰でもが主体的に学ぶことのできる機会を充実します。			
事業名	郷土資料館・附属施設加賀家文書館・豊原分館の一般公開と展示の充実			
事業内容・目的	町の歴史や自然、加賀家文書等関連資料を広く展示公開し、新着資料、展示解説のリニューアル、調査研究の成果などを常設展示に反映させ、町民の学習機会の充実を図ります。			
評価指標	1.入館者の満足度（アンケートによる）2.入館者数（郷土資料館・加賀家文書館）3.入館者数（豊原分館）			
備考				

年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	90%	90%	90%	95%
目標値2	1,000	1,050	1,050	1,100	1,100
目標値3	200	200	200	200	200
実績1	87%				
実績2	945				
実績3	30				
決算額	10,340千円				
評価	B				

令和6年度（2024）実績

1. 入館者の満足度（郷土資料館・加賀家文書館）-87%（アンケート回答30人）
2. 入館者数（郷土資料館・加賀家文書館）-946人（個人-569人・団体-29団体377人）
3. 入館者数（豊原分館）-30人（個人-13・団体-1団体17人）
4. 附属施設加賀家文書館「アイヌ語通辞（通訳）加賀伝蔵物語」アニメーション制作・映像機器整備（アイヌ施策推進事業）

団体入館状況（郷土資料館・加賀家文書館）

月日	団体名	人数	対応内容
4月11日	同友会	5	展示解説
5月15日	根釧女性農業委員の会視察研修	15	展示解説
5月16日	斜里町知床博物館職員	3	展示解説
5月20日	根室管内図書館協議会	5	
5月20日	総務文教常任委員会	9	
6月9日	主催事業ヤチカンバ見学会参加者	10	
6月14日	中春別中学校2年生	15	展示解説・講座
6月21日	令和6年度初認段階教員等研修	7	展示解説・講話
7月24日	西公民館寿大学	13	展示解説
7月24日	北海道大学文学部	3	展示解説
7月31日	主催事業サマースクール参加者	17	
8月13日	笑楽（地域回想法の一環として）	7	展示解説
9月10日	根室管内教育旅行誘致推進協議会令和6年度学校関係者モニターツアー	6	展示解説
9月12日	中春別中学校1年生	16	展示解説
10月21日	釧路アイヌ語の会	5	展示解説
10月23日	保健センター実習生	3	展示解説
10月27日	斜里町知床博物館ファンクラブ	35	展示解説
11月26日	中央公民館寿大学	23	展示解説
11月29日	中央公民館寿大学	32	展示解説
12月4日	別海町身体障がい者福祉協会	4	展示解説
1月9日	主催事業ウィンタースクール参加者	8	
1月26日	ふるさと講座自然系第3回目参加者（土器作り時）	8	
2月16日	ふるさと講座歴史系第3回目参加者（土器焼き時）	6	
2月18日	中央小学校3年生1組	34	展示解説・講話・昔の道具の体験
2月19日	中央小学校3年生2組	33	展示解説・講話・昔の道具の体験
2月20日	上春別小学校3,4年生	16	展示解説・講話・昔の道具の体験
2月21日	上風連小学校3,4年生	13	展示解説・講話・昔の道具の体験
2月28日	中春別小学校3年生	13	展示解説・講話・昔の道具の体験
3月6日	野付小学校3年生	13	展示解説・講話・昔の道具の体験

団体入館状況（豊原分館）

月日	団体名	人数	対応内容
10月3日	釧路開発建設部若手職員研修	17	展示解説・講話

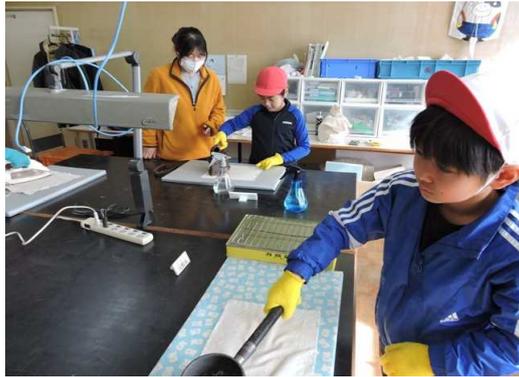
入館者の感想-アンケートから-

●郷土資料館について

- ・展示品を多く管理されているようだが、それぞれの説明がほとんどなく見る人まかせになっている。（道内・40代女性）
- ・マンモスの化石のような貴重な資料があり素晴らしいです。（道内・40代男性）
- ・展示の仕方が大変わかりやすくきちんとしていた。（道外・60代男性）

●加賀家文書館について

- ・初めの展示文書について、少し書き出しでも現代語訳があると一般人にはなじみ深く感じて、当時の動きに興味がさらに湧くのではないのでしょうか。（管外・40代女性）
- ・加賀伝蔵さんをはじめて知りました。通訳で絵にも秀でているので、今の時代に当時がよくわかりました。（管外・30代女性）



町内小学校来館の様子

「アイヌ語通辞(通訳)加賀伝蔵物語」アニメーション制作・映像機器整備

1-1-1-17						
分類	1-1-1 世代共通-学習分野		担当課	郷土資料館		
推進目標	いつでも、どこでも、誰でもが主体的に学ぶことのできる機会を充実します。					
事業名	広報活動の充実（ホームページ・郷土資料館だより）					
事業内容・目的	町の歴史や自然及び加賀家文書に関することをホームページなどを通じ、情報の提供を行い町民の学習機会の充実を図ります。					
評価指標	1. ホームページ更新回数（郷土資料館だより更新を除く） 2. 発行回数（広報べつかい版、館配布・ホームページ配信版）					
備考						
年度	2024	2025	2026	2027	2028	
実施計画	○	○	○	○	○	
目標値1	12	12	12	12	12	
目標値2	24	24	24	24	24	
実績1	23					
実績2	22					
決算額	-					
評価	B					

令和6年度（2024）実績

1. ホームページ更新回数（郷土資料館だより更新を除く）-23回
事業のお知らせや実施報告、別海町の自然などを主に掲載。
2. 発行回数-22回
「広報べつかい版」では、事業のお知らせを主とし、「館配布・ホームページ配信版」では、町の歴史や自然に関するコラムを掲載。

1-1-1-18						
分類	1-1-1 世代共通-学習分野		担当課	郷土資料館		
推進目標	いつでも、どこでも、誰でもが主体的に学ぶことのできる機会を充実します。					
事業名	郷土学習の支援					
事業内容・目的	町内外及び学校関係、各種団体の歴史や自然に関する調査・研究の支援を行い、情報の相互提供などを行い学習機会の充実を図ります。					
評価指標	1. 件数					
備考						
年度	2024	2025	2026	2027	2028	
実施計画	○	○	○	○	○	
目標値1	20	20	20	20	20	
実績1	31					
決算額	-					
評価	A					

令和6年度（2024）実績

1. 歴史関係-27件、自然関係-4件（町内-6件、管内-1件、管外-11件、道外-13件）
 ※来館、電話での回答や関係資料の提供を行うなど対応。

1-2-1-17						
分類	1-2-1 世代共通-芸術文化分野		担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさと芸術・文化を振興し、文化芸能団体活動をサポートします。					
事業名	郷土研究会等の育成					
事業内容・目的	町内にある郷土研究会等への指導・協力を行い、郷土研究の充実・発展を目指します。					
評価指標	1. 指導・協力回数					
備考						
年度	2024	2025	2026	2027	2028	
実施計画	○	○	○	○	○	
目標値1	24	24	24	24	24	
実績1	51					
決算額	-					
評価	A					

令和6年度（2024）実績

1. 指導・協力回数-51回
 別海町郷土研究会
 ①「風蓮湖周辺動植物調査」（16回）（郷土資料館と協同調査）
 ②古写真・文献デジタル化作業（35回）

1-2-3-09					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野		担当課	郷土資料館	
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	郷土資料の収集・整理・保存・調査研究				
事業内容・目的	所蔵資料のうち、未整理や未分類、調査研究が不十分なものに対して、資料基本台帳のデジタルデータベース化と同時進行で整理などを実施するとともに、次世代に継承しなければならない郷土資料を収集します。				
評価指標	1. 資料基本台帳登録資料数				
備考	1. 資料基本台帳登録資料数 ※令和7年3月31日現在総資料数 19,992点(平成17～令和6年度実績5,877点)				

年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	200	200	200	200	200
実績1	1,193				
決算額	-				
評価	B				

令和6年度(2024)実績

1. 資料基本台帳登録資料数-1,193点 (収蔵859点(考古資料)・寄贈資料分334点=計測・注記・写真撮影)					
2. 資料の寄贈・収集・作成					
①寄贈資料数-334点(自然-18点、考古-4点、産業-1点、文書-310点、芸術1点)					

1-2-3-10					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野		担当課	郷土資料館	
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	歴史や自然に関する調査研究				
事業内容・目的	町の歴史・自然に関する調査研究を計画的に進め、知られざる史実を掘り起こし、教育普及活動を通して、町民に広く公表します。				
評価指標	1. 調査件数				
備考					

年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	2	2	2	2	2
実績1	3				
決算額	-				
評価	B				

令和6年度(2024)実績

1. 調査件数-3件					
①歴史-「加賀家文書等資料」の詳細調査及び解読作業					
②歴史-又十藤野家について(令和2年度から継続調査)					
③自然-風蓮湖周辺の動植物調査(町郷土研究会協同調査)					

1-2-3-11					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	ふるさと講座				
事業内容・目的	町の歴史や自然に関する講座を開設し、ふるさと別海への愛郷心の高揚を図ります。				
評価指標	1. 受講者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	95%	95%	95%	95%	95%
実績1	93%				
決算額	61千円				
評価	B				

令和6年度（2024）実績

1. 受講者の満足度-93%（アンケート回答59人） 自然系・歴史系共に満足度の高い講座となり、大変好評だった。				
自然系	期 日	場 所	内 容	受講者数
①	5月19日	野付半島	「野付の高層湿原の花と野鳥の観察会」 講師：NPO法人野付・エコ・ネットワーク 代表 藤井薫氏	8人
特別版	7月7日	野付半島	「野付半島ジオツアー～野付半島の成り立ちを探る！」 講師：ふじのくに地球環境史ミュージアム 客員教授 七山太氏	11人
②	11月17日	野付半島	「初冬の野鳥観察会-コクガンを観察しよう」 講師：NPO法人野付・エコ・ネットワーク 代表 藤井薫氏	5人
③	2月18日	風連湖等	「冬の野鳥観察会」 講師：NPO法人野付・エコ・ネットワーク 河口真梨氏	7人
歴史系	期 日	場 所	内 容	受講者数
①	4月20日	野付半島	「江戸時代のノツケ～野付通行屋・番屋跡遺跡～」 講師：郷土資料館 副館長 石渡一人	14人
②	6月24日	奥行・上風連	「別海町歴史文化遺産を巡る（旧国鉄標津線跡編）」 講師：郷土資料館文化財担当 主幹 戸田博史	7人
③	1月26日 2月22日	風連湖等	大昔のべつかい～お話と土器づくり体験～ 講師：郷土資料館 副館長 石渡一人	8人



令和6年5月19日 自然系①



令和6年11月17日 自然系②



令和7年2月18日 自然系③

参加者の感想（アンケートから）

自然系①

・今日は近くで見る事が出来31種の鳥達、アカアシシギの声も聞けました。有難うございました。

・野付野鳥図鑑を買ったものの何が何だか全くわからなかったので、今日は、キョウジョシギ、キアシシギ、トウネン、メダイチドリ、ハマシギ、シロチドリを覚える事ができました。忘れない様、復習します。秋また、参加したいです。NZ→JPN、夢がありますね。

自然系特別版

・今まで素通りしていた場所が、こんなにも重要な場所であることにおどろいた。石1つで話が広がる場所がおもしろかった。常に形が変わり続けていて、この後いつどのような変化があるのか想像もつかないが、野付半島がなくなることはないという言葉に少し安心しました。ありがとうございました。

・興味深い内容で楽しかったですが、話が難しく理解度は低かったです。パワポも含め一般人向けに平易なものにするともっと良いかと思いました。

自然系②

・丁寧に説明して頂き大変勉強になりました。藤井先生に感謝です。風雨も強くなる予報でしたが、大変楽しかったです。ありがとうございました。

・あいにくの天気でしたが、コクガンをはじめハギマシコの群れに出会うことが出来満足でした。また、次回よろしくお願ひします。

自然系③

・天候も良く、オジロワシ・オオワシを良く観察することができました。講師の方から提案のあったカモ類観察会、やってもらいたいです。

・とても素敵な場所に住まわせてもらっていると改めて感じたと共に環境を守ることにもっと協力できる何かを見つけたいと思います。説明もわかりやすく、勉強になりました。今までとは違う視点を持つことができました。ありがとうございました。

歴史系①

・はじめて来ることができて、東のはてに古い歴史を知ることができて良かったです。福島の先祖を持っている私としては、ここにも会津藩の方が来られていたことに驚きました。交通網が発達していなかった時代は、海や川のあるところが栄えたのだと感じました。もう少し、先端も見なかったな～と思いました。

・普通は立ち入れない場所に説明付で案内いただいてよかったです。風が強かったですですが、野付半島の雰因気を楽しめました。晴れていたなら知床連山もはっきり見えて素晴らしいと思います。次回が楽しみです。ありがとうございました。

・ずっと来たかった期待通りの楽しさでした。あんな先端の場所にお墓があるなんてロマンです。感無量でした。前日に資料館におとずれた時も快く対応して下さいありがとうございました。

・これまで経験したことがない自然、地形、歴史遺産が楽しめました。とても満足できました。また、参加したいです。ガイドがわかりやすく良かったです。ありがとうございました。

歴史系③

・作れて楽しかったし、できるか楽しみです。

・土器づくりは難しかったが、楽しかったです。

・別海のことも知れたし、土器づくりが出来たので良かったと思っています。

・学校で教わった時代名は本州基準で、北海道の時代区分では別の名前がついていることが、目からウロコだった。

・北海道の歴史が知れてよかったです。

・先生の講義が、とても役に立った。興味深い話が聞けて良かった。



令和6年4月20日 歴史系①



令和6年6月24日 歴史系②



令和7年1月26日

1-2-3-12						
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野		担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。					
事業名	加賀家文書歴史講座					
事業内容・目的	加賀家文書を中心とした近世江戸時代に関する講座を開設し、加賀家文書に対する理解を深めます。					
評価指標	1. 受講者の満足度（アンケートによる）					
備考						
年度	2024	2025	2026	2027	2028	
実施計画	○	○	○	○	○	
目標値1	95%	95%	95%	95%	95%	
実績1	-					
決算額	-					
評価	C					

令和6年度（2024）実績

事業実施に向け準備をしていましたが、参加者無のため中止としました。			
期 日	場 所	内 容	受講者数
2月22日	郷土資料館	講話「アイヌ語通辞（通訳）加賀伝蔵について」 郷土資料館 副館長 石渡 一人	-

1-2-3-13						
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野		担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。					
事業名	特別展・企画展					
事業内容・目的	調査研究の成果の公表及び所蔵されている資料を広く展示公開し、町の歴史や自然をより深く理解するための特別展・企画展を実施します。					
評価指標	1. 見学者の満足度（アンケートによる）					
備考						
年度	2024	2025	2026	2027	2028	
実施計画	○	○	○	○	○	
目標値1	95%	95%	95%	95%	95%	
実績1	-					
決算額	50千円					
評価	B					

令和6年度（2024）実績

1. 見学者の満足度-（アンケート回答無しのため実績値1は記入無しとし、評価については、担当主観で記載した。）				
	期 日	場 所	内 容	入館者数
①	6月3日 ～7月19日	加賀家文書館	特別展「アイヌ語通辞（通訳）加賀伝蔵物語」（A1パネル13枚）	126

1-2-3-14					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	郷土学習出前講座				
事業内容・目的	学校・各種団体の要望に応じて、郷土に対する理解を深めるための講座を開設します。				
評価指標	1. 受講者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	95%	95%	95%	95%	95%
実績1	75%				
決算額	12千円				
評価	B				

令和6年度（2024）実績

1. 受講者の満足度-75%（アンケート回答1団体）			
月 日	事業名とその内容	受講者数	担当職員等
4月7日	野付半島ネイチャセンターガイド研修会 「野付半島の歴史と遺跡」	10	石渡副館長
6月11日	別海中央中学校「標津線のこと 別海交通史」	190	近藤隊員
6月14日	中春別中学校2年生 「大昔の別海・勾玉作り」	15	石渡副館長
6月19日	上春別中学校1年生 「野付半島の遺跡」	8	石渡副館長
7月11日	中標津町郷土館友の会研修「西別湿原ヤチカンバ群落について」	12	戸田主幹
7月25日	ナカシベツ大学「西別湿原ヤチカンバ群落について」	28	戸田主幹
7月27日 ～28日	松浦武四郎inウボポイ（白老町） 「アイヌ語通辞（通訳）加賀伝蔵について」	100	石渡副館長
8月2日	公益財団法人アイヌ民族文化財団アイヌ文化普及啓発セミナー（札幌市） 「アイヌ語通辞（通訳）加賀伝蔵について」	50	石渡副館長
8月3日	北海道大学「プラス・ミュージアム・プログラム～2024年度キック オフシンポジウム」 「日本遺産鮭の聖地の物語の取組について」	62	石渡副館長
8月6日	JA道東あさひジュニアホルスタインクラブ 「野付半島の不思議」	47	石渡副館長
8月27日	公益財団法人アイヌ民族文化財団アイヌ文化普及啓発セミナー（東京都） 「アイヌ語通辞（通訳）加賀伝蔵について」	48	石渡副館長
9月8日	北海道博物館『フォーラム：北海道の「駅通所」を語る～その歴史と文化資産～』	65	戸田主幹
9月28日	上春別学校区CS運営協議会 「巣箱づくり」	15	石渡副館長
10月3日	釧路開発建設部若手職員研修 「別海町の酪農について」	17	根釧PF運営委員会 青野芳樹氏
11月12日	別教研生活科サークル研修会 「野付半島の歴史と遺跡」	4	石渡副館長
12月18日	別海中央中学校3年生 「日本遺産って何でしょう？ 鮭の聖地の物語」	58	近藤隊員
12月19日	中春別中学校「職業講話 別海の魅力 働くってどんなこと？」	44	近藤隊員
1月12日	国立アイヌ民族博物館 アイヌ文化でつながる博物館等ネットワーク ブンカラ協働展示トークイベント（三重県松阪市） 「アイヌ語通辞（通訳）加賀伝蔵について」	45	石渡副館長

出前講座の感想（アンケートから）

- ・6/19 上春別中学校1年生
遺跡の写真や発掘調査の様子などで、現地の雰因気が生徒に伝わったと思います。かぎ層を手がかりにした地質年代の測定など興味深い内容が多かったです。

1-2-3-15					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野		担当課	郷土資料館	
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	出前移動展				
事業内容・目的	これまでに実施した特別展のパネル資料などを学校・各種団体の希望に応じて貸出し、移動展を実施することにより、町の歴史や自然を身近に感じてもらいます。				
評価指標	1. 見学者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	95%	95%	95%	95%	95%
実績1	95%				
決算額	-				
評価	B				

令和6年度（2024）実績

1. 見学者の満足度-95%（アンケート回答13人）		
期 間	事業名と内容	備 考
7月27日 ～28日	ウポポイ(民族共生象徴空間)エントランス棟（白老町） 「アイヌ語通辞（通訳）加賀伝蔵物語」	パネル14枚
9月10日 ～24日	西公民館 「アイヌ語通辞（通訳）加賀伝蔵物語」	パネル14枚
11月1日 ～29日	野付半島ネイチャーセンター 「アイヌ語通辞（通訳）加賀伝蔵物語」	パネル14枚
12月3日 ～24日	羅臼町郷土資料館 「アイヌ語通辞（通訳）加賀伝蔵物語」	パネル14枚

見学者の感想（アンケートから）

●11/1～29 野付半島ネイチャーセンター

- ・知らなかったことを知れて良かった。（道外50代女性）
- ・アイヌの人達と伝蔵の熱心さによりアイヌ語を覚え、文化を後世に残してください。（道外60代男性）
- ・このような方がいたとは知りませんでした。大変勉強になりました。何回も見たいです。（道内60代女性）
- ・伝蔵さんの物語、分かり易く歴史を知れた。感動しました。ありがとうございます。（道外20代女性）

●12/3～24 羅臼町郷土資料館

- ・非常に興味深かった。（町内40代男性）



令和6年7月27日-28日 ウポポイ



令和6年12月3日-24日 羅臼町郷土資料館

1-2-3-16					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	資料の有効的活用のための貸出				
事業内容・目的	郷土資料の有効的活用を図るため、可能な限り貸出を行い、郷土学習に役立てます。				
評価指標	1. 利用者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	95%	95%	95%	95%	95%
実績1	90%				
決算額	-				
評価	A				

令和6年度（2024）実績

1. 利用者の満足度-90%（アンケート回答無）

アンケート回答無のため実績1については、担当者の主観により記載した。さらなる有効的活用のための貸出を行うためには、資料基本台帳の整備及び公開が急務である。

期 間	内 容	貸出資料
6月11日 ～10月31日	北海道博物館第10回特別展 「みんなの鉄道」展示資料として	陳情書北海道簡易軌道対策協議 会書類-1点、別海村営簡易軌道 乗車券-1点、レール（6・12kg） -2点
7月20日 ～9月23日	北海道博物館第10回特別展 「みんなの鉄道」展示資料として	簡易軌道概況図（コピー）-1 点、換気軌道関係写真-5点
9月11日 ～10月8日	上春別連合町内会 上春別地区敬老会使用	昔なつかしい映像-5点
2月4日	一般社団法人テトラソリューション 球団ウェブサイト使用	小澤彦三資料写真-5点、根釧パ イロットファーム開拓資料館運 営委員会資料写真-5点
2月9日	タケシロードツアーG 絵本「松浦さんと旅する本5」掲載資料として	加賀家文書等資料（松浦武四郎 書簡-2点、加賀伝蔵肖像画-1 点）
1月23日 ～2月7日	上西春別小学校 「昔の道具と暮らし」授業使用のため	「別海町百年史」「西春別駅前 開基80周年記念史」「記録写真 集大いなる町別海」 昔の道具-アイロン、火のし、湯 たんぼ、おひつ、つば釜、洗濯 板 合計9点
11月29日 ～1月12日	国立アイヌ民族博物館 アイヌ文化でつながる博物館等 ネットワークブンカラ協働展示「三重から北海道へ-アイ ヌ文化と出会った人々」（三重県松阪市：松浦武四郎記 念館）	加賀家文書等資料（松浦武四郎 書簡-2点）

1-2-3-17					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	郷土学習推進に関わる刊行物の作成				
事業内容・目的	郷土学習推進のために町の歴史や自然、郷土資料に関わる調査・研究の成果を広く紹介するために刊行物を計画的に作成し、ふるさと別海への愛郷心の高揚を図ります。				
評価指標	1. 作成件数				
備考					
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	1	1	1	1	1
実績1	2				
決算額	-				
評価	B				

令和6年度(2024)実績

- ①「別海町郷土資料館だより No.297~308」の刊行。当館、役場で配布、ホームページで掲載。(広報活動の充実と重複)
- ②展示解説「別海町指定文化財 野付半島沖マンモスゾウ臼歯化石群」(館内配布・ホームページで掲載)

別海町郷土資料館だより

ウィンタースクール「犬舌のべつかい・土器づくり」のお知らせ!
古代の人と同じように粘土で土器を作り、焼いてみます。

- 1回目
とき 令和7年1月9日(木) 10:00~12:00
内容 ①お話し 犬舌のべつかい 定体験活動 土器づくり
- 2回目
とき 令和7年1月26日(日) 9:00~12:00
内容 ①体験活動 土器焼き
- 対象者及び募集人員
小学校以上 10名(親子参加可)
- 申込み受付期間
12月2日(月)~27日(金) に電話にてお名前と電話番号をお知らせください。



ふるさと講座・自然系第2回目
「初冬の野鳥観察会・コクガンを観察しよう」を実施しました。

11月17日(日)、野付半島で実施しました。講師は、NPO法人野付・エコ・ネットワーク代表 藤井薫氏。参加者は5名です。
講師よりネイチャーセンター2階で、コクガンについてのお話をいただきました。その後、野付半島先端に車で移動しました。車で通行可能な池田番屋付近と野鳥観察小屋にて観察を行いました。風が強くて視界が狭いコンディションでしたが、比較的近くでコクガンを観察できたほか、ハギマシコの大群を観ることが出来ました。
●観察出来た野鳥
コクガン・ハギマシコ・オシロワシ・オオシロ・オオハクチョウ・クロガモ・アサギ・オナガガモ・スズガモ・オオバン



郷土資料館だより

別海町指定文化財 野付半島沖マンモスゾウ臼歯化石群

(平成18年4月27日指定)

第四紀更新世(160~1万年前 氷河時代)の日本列島は、しばしば陸続きになり南や北のルートを通じて動物達が大陸から移動してきました。北のルートを通ってきた動物にマンモスゾウがあげられ、気候が寒冷な北緯50度以上のシベリア、アラスカで約7~1万年前まで生息していました。日本では、北海道の夕張市、えりも町、由仁町、樺太海峡海底などで12個の臼歯化石が発見されています。
年代測定によると北海道に生息していたのは、約6~2万年前頃だったようです。野付半島沖では、いずれもウニ、ホタテ漁の際に見つかったものです。4個の臼歯化石がほぼ同じ海域から発見されています。まだまだ、海底に眠っているものもあるのではと期待をよせています。



- 1 野付崎標本 右下顎第3臼歯 (約2万年前)
- 2 トドワラ標本 右下顎第4臼歯or第1大臼歯
- 3 野付崎標本2標本 左下顎第1大臼歯 (約4万3千年前)
- 4 野付崎標本3標本 右上顎第1大臼歯 (約4万1千年前)



展示解説

2-2-2-17					
分類	2-2-2 生涯各期-青少年期	担当課	郷土資料館		
推進目標	魅力ある様々な体験的学習活動を展開するとともに、他地域・異学年交流を充実します。				
事業名	郷土資料館サマー・ウインタースクール				
事業内容・目的	郷土の歴史や自然を理解する心を持たせるとともに、21世紀の別海町の未来を探求させる心を育てます。（夏休み期間・冬休み期間）				
評価指標	1. 受講者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	95%	95%	95%	95%	95%
実績1	91%				
決算額	10千円				
評価	A				

令和6年度（2024）実績

1. 受講者の満足度-91%（アンケート回答21人）
もの作りを通して別海の歴史を知ることが出来るなど好評だった。

サマースクール

期 日	場 所	内 容	受講者数
7月31日	郷土資料館	「大昔のべっかい 勾玉づくり」 講師 別海町郷土資料館 副館長 石渡 一人	13人

ウインタースクール

期 日	場 所	内 容	受講者数
1月9日 1月26日	郷土資料館	「大昔のべっかい 土器づくり」 講師 別海町郷土資料館 副館長 石渡 一人	15人

参加者の感想

サマースクール

- ・ やすりでけずるのがむずかしかったです。またやりたいです。みずでけずるのがはじめてでした。あとふえるとでけずってひかるのはじめてでした。
- ・ 昔の人の気持ちになったようで、無心でけずり作ることができました。楽しい体験ありがとうございました。
- ・ 子供よりも集中して作ってしまうくらい楽しかったです。土器づくりもやってみたくです。丁寧なご説明ありがとうございました。また機会があれば参加したいです。

ウインタースクール

- ・ 初めて土器をつくったけど、上手くつくれてよかったです
- ・ はじめての土器作りでしたが、時間があっという間に過ぎてしまい面白い体験が出来ました。ありがとうございました。
- ・ 子どもといっしょにとっても楽しめました。
- ・ やったことの無い体験ができて楽しかったです。今回は他にも人がいたので、楽しみがふえました。



令和6年7月31日 サマースクール



令和7年1月9日 ウィンタースクール

2-4-3-03			
分類	2-4-3 生涯各期-高齢期	担当課	郷土資料館
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。		
事業名	所蔵資料を活用した地域回想法事業		
事業内容・目的	認知症を有する高齢者やその予備軍に対して、所蔵資料を活用した地域回想法への取組を目指す。		
評価指標	1. 進捗状況		
備考			

年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	○	○	○	○	○
目標1	95%	95%	95%	95%	95%
実績1	90%				
決算額	-				
評価	B				

令和6年度（2024）実績

・令和2年度から、町内12の高齢者福祉施設等に「別海町郷土資料館地域回想法事業貸出メニュー」を具体的に明記・周知し利用いただいている。

月日	内容	人数
8月13日	「笑楽」郷土資料館の見学	7
9月11日 ～10月8日	上春別連合町内会 上春別地区敬老会での昔なつかしい映像5点の使用	10

3-4-1-01					
分類	3-4-1 施設・機関-郷土資料館	担当課	郷土資料館		
推進目標	郷土資料館の整備・充実を図り、文化遺産(郷土資料)を継承していきます。				
事業名	郷土資料館の整備				
事業内容・目的	老朽化した郷土資料館・豊原分館の整備方針を策定し、計画的な整備を進めます。附属施設加賀家文書館については、計画的な改修を行います。				
備考	※下記実施計画は、予定とする。				
実施計画	2019	調査・準備（教育委員会内部検討会議）			
	2020	調査・準備（役場庁舎内検討会議）			
	2021	調査・準備（役場庁舎内検討会議）			
	2022	調査・準備（役場庁舎内検討会議）			
	2023	郷土資料館改修工事（屋根・外壁・軒天）12,859千円 加賀家文書館改修工事（屋根・外壁・屋根防水工事-長寿命化工事）14,399千円			
	2024	調査・準備・調整（教育委員会内）			
	2025	調査・準備・調整（教育委員会内）			
	2026	調査・準備・調整（教育委員会内）			
	2027	基本構想策定（別海町郷土資料館整備検討委員会）			
	2028	基本計画策定（別海町郷土資料館整備検討委員会）			
年度	2019	2020	2021	2022	2023
決算額	108千円	-	-	-	27,258千円
評価	○	○	○	○	○
年度	2024	2025	2026	2027	2028
決算額					
評価	○				



郷土資料館



豊原分館

1-2-2-01					
分類	1-2-2 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	町の歴史的遺産や文化財を適切に保存するとともに、歴史・自然・文化財を学ぶ機会の充実を図り、郷土愛を育成します。				
事業名	町指定文化財指定・公開活用事業				
事業内容・目的	町民の文化財への理解を深めるため、町内における指定文化財の一般公開を実施するとともに、必要な整備を実施して活用を図ります。また、別海町歴史文化遺産のうち、町指定文化財としての価値のある物件を、町指定文化財に指定します。				
評価指標	1. 実施整備事業数 2. 公開上解決できなかった問題の数				
備考					
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	○	○	○	○	○
目標1	2	2	2	2	2
目標2	0	0	0	0	0
実績1	3				
実績2	0				
決算額	753千円				
評価	A				

2024年度特記事項

野付の千島桜治療、「試作場の桜」「本別海一本松」の解説・案内看板整備を実施しました。
 予算額 925千円（うち道補助金400千円）



試作場の桜解説看板



本別海一本松案内看板



金田樹木医による治療



野付の千島桜(令和6年5月12日)

1-2-2-02					
分類	1-2-2 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	町の歴史的遺産や文化財を適切に保存するとともに、歴史・自然・文化財を学ぶ機会の充実を図り、郷土愛を育成します。				
事業名	埋蔵文化財保護事業				
事業内容・目的	町内にある埋蔵文化財包蔵地の適切な管理を継続するため、「埋蔵文化財包蔵地図」等を用い開発事業者への埋蔵文化財蔵地情報の提供に努めると共に、開発事業実施に当たっては、十分な事前協議が行われるよう調整し、その保護保存を図ります。				
評価指標	1. 不法な開発行為数				
備考					
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	○	○	○	○	○
目標1	0	0	0	0	0
実績1					
決算額	0千円				
評価	B				

2024年度特記事項

8件の埋蔵文化財事前協議を実施しました。

1-2-2-03					
分類	1-2-2 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	町の歴史的遺産や文化財を適切に保存するとともに、歴史・自然・文化財を学ぶ機会の充実を図り、郷土愛を育成します。				
事業名	別海町歴史文化遺産認定・公開活用事業				
事業内容・目的	町内各地区の歴史や文化を物語る物件等を調査研究してリストアップし、「別海町歴史文化遺産」として認定するとともに、その公開活用を図ります。				
評価指標	1. 新規登録数 2. 公開活用事業数 3. 候補物件のリストアップ状況				
備考					
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	○	○	○	○	○
目標1	1	1	1	1	1
実績1	2				
目標2					
実績2					
決算額	178千円				
評価	B				

2024年度特記事項

- ・「北矢臼別火の見櫓の半鐘」と「矢臼別小学校跡」を別海町歴史文化遺産に認定しました。
- ・「昭和小学校跡」の解説看板と「第一次伊能忠敬測量隊最東端測量の地」（本別海一本松の案内看板と共通）の案内看板を新設しました。



北矢臼別火の見櫓の半鐘



昭和小学校跡解説看板

1-2-2-04					
分類	1-2-2 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	町の歴史的遺産や文化財を適切に保存するとともに、歴史・自然・文化財を学ぶ機会の充実を図り、郷土愛を育成します。				
事業名	奥行地区文化財保存整備事業				
事業内容・目的	旧奥行臼駅通所他、奥行地区に集中している文化財の総合的な保存整備を進め、観光資源としての活用を図ります。				
評価指標	1. 旧奥行臼駅通所の入館者数 2. 総合的保存整備の進捗状況				
備考					
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	○	○	○	○	○
目標1	3,000	3,100	3,200	3,300	3,500
実績1	2,776				
決算額	5,613千円				
評価	B				

2024年度特記事項

- ・5月1日から11月3日まで奥行地区文化財の一般公開を行いました。旧奥行臼駅通所の入館者数は2,776名(昨年比363名増)でした。
- ・奥行臼子どもの日イベントを開催しました(トロッコ71名、乗馬30名参加)
- ・奥行臼ミニトロッコサンデーを開催しました(62名参加)。
- ・トロッコ客車を購入整備し、夏休みトロッコサンデーを開催しました(429名参加)。
- ・奥行臼散策デーを開催しました(トロッコ122名参加、駅通所69名入館)。
- ・旧奥行臼駅通所文化の日特別公開を開催しました(87名入館)。
- ・旧奥行臼駅ランタンナイトを開催しました。
- ・冬の奥行臼散策デーを開催しました(11名参加)。



トロッコサンデー



奥行臼散策デー



旧奥行臼駅通所文化の日特別公開



冬の奥行臼散策デー

1-2-2-05					
分類	1-2-2 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	町の歴史的遺産や文化財を適切に保存するとともに、歴史・自然・文化財を学ぶ機会の充実を図り、郷土愛を育成します。				
事業名	西別湿原ヤチカンバ群落地保存整備事業				
事業内容・目的	保存のための調査・モニタリングを継続して行います。国天然記念物西別湿原ヤチカンバ群落の保存活用計画を策定し、抜本的な保存事業を実施するとともに、公開活用を図ります。				
評価指標	1. 保護区域内での不法な採取の件数 2. 保存活用計画・整備の進捗状況				
備考					
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	○	○	○	○	○
目標1	0	0	0	0	0
実績1	0				
決算額	1,993千円				
評価	A				

2024年度特記事項

- ・西別湿原ヤチカンバ群落地保護対策検討委員会を1回開催し、保存活用計画の検討を行いました。
- ・見学会を実施しました（10名参加）。
- ・「谷地端会議〜ムSENSグってどんな草？」を開催しました（44名参加）。
- ・帯広畜産大学と森林総合研究所に調査研究を委託しました。



西別湿原ヤチカンバ群落保護対策検討委員会



見学会



谷地端会議



谷地端会議時ロビー展示

1-2-2-06					
分類	1-2-2 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	町の歴史的遺産や文化財を適切に保存するとともに、歴史・自然・文化財を学ぶ機会の充実を図り、郷土愛を育成します。				
事業名	文化財保存活用地域計画・歴史的風致維持向上計画策定事業				
事業内容・目的	文化財保護のマスタープランである文化財保存活用地域計画を策定し、この構想を踏まえて「歴史まちづくり法」に基づく歴史的風致維持向上計画を策定する。				
評価指標	1. 構想・計画策定の進捗度				
備考	2022-24年度に文化財保存活用地域計画を策定し、2025年度以降に歴史的風致維持向上計画策定を開始します。				
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	○	-	-	-	-
目標1					
実績1					
決算額	1,311千円				
評価	A				

2024年度特記事項

別海町文化財保存活用地域計画を策定し、文化庁に計画を認定されました。

1-2-2-17					
分類	1-2-2 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	町の歴史的遺産や文化財を適切に保存するとともに、歴史・自然・文化財を学ぶ機会の充実を図り、郷土愛を育成します。				
事業名	日本遺産整備活用事業				
事業内容・目的	日本遺産「鮭の聖地」の認知度の向上させるために情報発信や普及啓発を行い、町内にある構成文化財の観光資源としての活用を図る。				
評価指標	1. 当該年度実施予定各種事業の実施状況				
備考	根室管内1市3町から成る協議会「鮭の聖地メナシネットワーク」が実施。				
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	○	○	○	○	○
目標1					
実績1					
決算額	222千円				
評価	B				

2024年度特記事項

- ・ 殖民軌道根室線開通100周年記念フォーラムを開催しました（100名参加）。記念フレーム切手と小型印の企画をしました（4月発売）。
- ・ カプセルトイの販売（眼鏡拭き）を行いました（60個完売）。
- ・ 日本遺産フェスティバル（福島県会津若松市）と日本遺産の日イベント（京都市）に出展・参加しました。



殖民軌道根室線開通
100周年記念フォーラム

